

市民大会参加規程

2026.01.28

1 大会への参加

さいたま市民テニス大会(以下「市民大会」という。)に参加するには、当協会の会員であることの他に下記条件がある。

◆大会の種目と参加者条件

1. 会員区分 S:主として当協会主催の大会に出場される会員 ※県大資格が得られるか否かに関わらず、県内他都市主催の県大会につながる大会には参加できません T:(県大資格が得られるか否かに関わらず)県内他都市主催の県大会につながる大会に出場される会員 F:団体に所属しないフリーの方。参加できる大会は限られ、有効期間は4ヶ月過ぎると削除されます。
2. 種目 AT:上級、Aの上位種目、県大会出場有資格者も参加できます A :上級、県大会の出場権が獲得できる種目 <埼玉県在住/在勤・在学/ふるさと制度適用者が参加可能> B :中級、試合経験が豊富でさらに競技力向上を目指す方の種目 C :初級、試合経験の少ない方の種目 E :テニスを始めた初心者で、ルールやマナーを学びながらテニスを楽しむ種目
3. 年齢基準 : ベテラン部門は、大会年度の12月31日を下限年齢基準とします ジュニア部門は、大会年度の1月1日を上限年齢基準とします 市民選手権のベテランは開催年の12月31日を下限年齢基準とします
4. 県在住区分 H:県内在住 X:県内在勤・在学 F:ふるさと制度(県外在住だが県内小・中・高校卒業者) N:左記以外

表1. 種目と参加条件

大会	年齢基準	種目			参加者条件								参加費							
					彩Tomasの個人情報で指定									一般とベテランの重複参加	県大会の有資格者					
		性別	単複	クラス	会員区分			クラス		県住区分	年齢区分									
		男	女	単	複	AT	S	T	F	A	B	C	E							
春季シングルス 春季ダブルス	一般	男	女	単	複	A	S			A							可	振込		
		男	女	単	複	B	S				B						不可			
		男	女	単	複	C	S					C								
		男	女	単	複	E	S		F				E				不可		現地	
春季ダブルス	一般	男	女	単	複	平日C	S					C				有	可	不可	現地	
	ベテラン60,70歳	男	女	単	複	平日ベ	S	T		A	B	C				有	可	不可	現地	
南部大会	一般	男	女	単	複	AT注2	S	T注1	F注1	A	B	C						不可(単複重複可)	不可	振込
	ベテラン45~85歳	男	女	単	複	—	S	T注1	F注1	A	B	C					有	可	可	
ジュニアトーナメント	10, 12, 14歳	男	女	単	—	—	S	T	F	A								—	—	振込
秋季シングルス 秋季ダブルス	一般	男	女	単	複	AT	S	T	F	A								可	振込	
		男	女	単	複	A	S			A								不可		
		男	女	単	複	B	S		F		B									
		男	女	単	複	C	S		F			C								
秋季ダブルス	一般	男	女	単	複	平日C	S					C					有	可	不可	現地
	ベテラン60,70歳	男	女	単	複	平日ベ	S	T		A	B	C				有	可	不可	現地	
テニスの日		混合	—	複	—	S	T	F									—	可	振込	
団体戦	一般	男	女	—	複	A	S	T		A	B	C						不可	可	振込
		男	女	—	複	B	S	T			B	C								
		男	女	—	複	C	S	T				C								
		男	女	—	複	—	S	T		A	B	C					有			
ミックスダブルス	一般	混合	—	複	A	S	T		A	B	C							不可	可	振込
		混合	—	複	B	S	T			B	C									
		混合	—	複	C	S	T				C									
		混合	—	複	E	S		F				E								
	ベテラン50歳	混合	—	複	—	S	T		A	B	C	E				有				
	ベテラン60歳	混合	—	複	—	S	T		A	B	C	E				有				
男女合計140歳	混合	—	複	—	S	T		A	B	C	E				有					
選手権	一般	男	女	単	複	A	S	T		A								不可(単複重複可)	可	振込
		男	女	単	複	B	S			A									不可	
		男	女	単	複	C	S				B									
		男	女	単	複	—	S	T		A	B	C					有	可	可	

注1. 南部大会の南部都市の協会に登録が必要です。

注2. 県大会出場有資格者も参加できます。

2 大会の概要と参加資格（表1の詳細） ※更新箇所赤字

大会	選手権
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般とベテランの年間最優秀選手(組)を決める協会最高ランクの大会 ・一般(A、B、C)、ベテラン(45歳～85歳)の単・複の24種目で構成 ・都市対抗戦の代表選手選抜の参考とする ・ベテランの部は、日本テニス協会公認大会(グレードF1)、埼玉県テニス協会承認大会 <p style="margin-left: 40px;">[県大会推薦枠] A男女「単、複」ベスト16内で、各8名(組)</p>
参加資格	<p>今年度開催の下記大会における有資格者</p> <p>A : a. 市民大会 ATクラスベスト16</p> <p> b. 市民大会 Aクラスで県大会出場権取得</p> <p> c. 県大会一般の出場者</p> <p> d. 県大会ベテラン本戦ベスト4</p> <p> e. 南部大会一般ベスト8</p> <p> f. 全国大会さいたま市代表選手</p> <p> g. その他</p> <p style="margin-left: 40px;">県公認大会での県大会出場権取得など</p> <p style="margin-left: 40px;">県協会「大会参加資格基準」による有資格者</p> <p>・大会運営委員会が認めた選手(組)</p> <p>B : 市民大会 Bのブロック優勝者(組)</p> <p>C : 市民大会 Cのブロック優勝者(組)</p> <p>ベテラン : a. 市民大会 ベテランベスト8</p> <p> b. 県大会ベテラン本戦出場者</p> <p> c. 南部大会ベテランベスト8</p> <p> d. JTA 選手登録者</p> <p style="margin-left: 40px;">(彩 Tomas の会員情報 VJOP 番号欄に JTA 番号入力必須)</p> <p> e. 全国大会さいたま市代表選手</p> <p>・大会運営委員会が認めた選手(組)</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・一般とベテランはどちらか一方だけに参加できる その中での単・複有資格者は両方に参加できる ・複は参加資格を取得したペアでのみ参加できる ただし、Aについては県大会本戦出場者に限り、単同士、複のペア交換、単と複の組合せで参加できる ・A、B、Cの複数種目の有資格者(組)は、上位種目に参加のこと (例えば、AとBの有資格者はAに参加) ・ベテランの単・複の両種目有資格者は、同じ年齢で両種目に参加できる (クロスオーバーは不可)

大会	春季シングルス・ダブルス 秋季シングルス・ダブルス
概要	<p>一般(AT、A、B、C)/ベテランの男女「単」「複」で構成する大会で、秋季は市民スポーツ大会を兼ねる</p> <p>AT：上級 A の上位種目 県大会出場有資格者も参加可能な大会 トーナメント方式</p> <p>A：上級 県大会春季・秋季予選の推薦取得大会 ブロック別トーナメント [県大会推薦枠]単複とも9ブロック以上は優勝者 8ブロック以下は優勝・準優勝者</p> <p>B/C：中級/初級大会 ブロック別トーナメント ブロック優勝者は次大会からランクアップ ブロック優勝者は選手権 B/C に出場できる</p> <p>ベテラン：45歳以上～85歳以上まで5歳刻みの年齢別種目設定 トーナメント方式 ベスト8以上は選手権に出場できる</p> <p>Enjoy：当協会主催のテニス教室卒業生や試合経験の少ない方向け大会 ねんりんピック全国大会予選会： 春季ダブルス大会と同時開催 優勝ペアを全国大会に派遣 男・女60歳以上、男子70歳以上のダブルス3種目</p> <p>平日女子Cビギナー：試合経験の少ない方向けの大会(ダブルスのみ)</p> <p>平日ベテラン：ベテラン会員の交流と競技力の向上を目的とした大会</p>
参加資格	<p>AT：県大会資格、埼玉県在住在勤在学、S/T登録をいずれも問わない</p> <p>A：埼玉県在住/在勤・在学/ふるさと制度適用の方だけが参加できる (彩 Tomas の県登録番号の県在住区分が「H」、「X」、「F」のみ参加可) 県大会出場有資格者は参加できない。「複」では個々の選手に該当有資格者とは、県大会本戦/予選に残っている選手、 県大会推薦が取れる各種大会で出場資格を取得した選手も含む ※A 申込後に県大会出場権を取得した選手は、その時点で 当協会に参加辞退の連絡をすること</p> <p>ベテラン：大会年度の12月31日までに各種目の下限年齢に達している方</p> <p>Enjoy：彩 Tomas のEクラス、未登録者も参加できる</p> <p>ねんりんピック全国大会予選会： さいたま市在住で、大会翌年度の4月1日までに男・女60歳、 男子70歳の各種目の年齢に達している方だけが参加できる</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・秋季大会は会員でなくても本市在住・在勤又は在学であればフリー(会員区分F)で、Aを除く全ての種目に参加できる ・ねんりんピック全国大会予選会はさいたま市及びテニス協会から全国大会派遣費の補助がある

大会	テニスの日
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリーミックス大会 ・市民スポーツ大会の一種目としてテニスの日を開催 ・ブロック別リーグ戦で順位を決定後、順位別トーナメント
参加資格	夫婦、親子、兄妹、姉弟、祖父母と孫の男女ペア
その他	ペアの一人が会員であれば、未登録の当市在住、在勤又は在学の方もフリー(会員区分 F)で参加できる ※フリー(会員区分 F)同士での参加不可

大会	ジュニア トーナメント
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年齢別(10・12・14 歳以下)男女「単」のジュニア大会 ・試合経験の少ない選手が対象 ・ブロック別リーグ戦で順位を決定後、順位別トーナメント
参加資格	関東ジュニアランキングの埼玉県ランキングが下記に該当する選手 <ul style="list-style-type: none"> ・10 歳以下：制限なし ・12 歳以下：男女とも 50 位以下 ・14 歳以下：男女とも 50 位以下
その他	セルフジャッジができること

大会	団体戦
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・複 3 ペアによるトーナメント ・1 ブロックは 24 チーム以下とする
参加資格	参加種目は申込時の彩 Tomas ダブルスクラスを基準とする
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・1 チーム 6 名～12 名で編成する ・同一団体から複数チームの参加可 ・参加者は1種目、1 チームに限定し、重複参加はできない ・チーム編成の都合で上位種目に参加してもクラスアップは不要 ・可能な限り親善試合を実施する

大会	ミックスダブルス
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・一般(A、B、C)、ベテラン(50 歳、60 歳、合計 140 歳)、Enjoy の 7 種目で構成 ・トーナメント方式
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・参加種目は申込時の彩 Tomas ダブルスクラスを基準とする ・E 登録者もベテラン(50 歳、60 歳、合計 140 歳)に参加できる
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・大会年度の県大会一般「複」出場者、出場権取得者及び有資格者は A に参加すること ・上位種目に参加してもクラスアップは不要

大会	南部大会
概要	<ul style="list-style-type: none"> ・南部地区協議会主催の南部 8 郡市からの選手によるトーナメント大会 ・一般(AT、A)/ベテランの男女「単」「複」で構成する <p>AT : A の上位種目。県大会出場有資格者も参加可能な大会 トーナメント方式</p> <p>A: 秋季県大会予選の推薦取得大会</p> <p>ベテラン: 45 歳以上～85 歳以上まで 5 歳刻みの年齢別種目設定 トーナメント方式 優勝者は秋県ベテラン大会の本戦へ推薦。</p>
参加資格	<ul style="list-style-type: none"> ・一般とベテランはどちらか一方だけに参加できる その中での単・複種目は両方に参加できる ・ベテランの単・複の両種目有資格者は、同じ年齢で両種目に参加できる (クロスオーバーは不可) ・AT: 県大会資格、埼玉県在住在勤在学、S/T 登録をいずれも問わない ・A : 埼玉県在住/在勤・在学/ふるさと制度適用の方だけが参加できる (彩 Tomas の県登録番号の県在住区分が「H」、「X」、「F」のみ参加可) <ul style="list-style-type: none"> ・県大会出場有資格者は参加できない。「複」では個々の選手に該当有資格者とは当年度の県大会本戦/予選に出場した、又はする選手、県大会推薦が取れる各種大会で出場資格を取得した選手も含む ※一般 A 申込後に県大会出場権を取得した選手は、その時点で当協会に参加辞退の連絡をすること ・ベテラン: 大会年度の 12 月 31 日までに各種目の下限年齢に達している方が参加できる

3 大会運営付則

(1)大会の申込み

前記<1 大会への参加、2 大会の概要と参加資格>を理解した上で申込むこと

(2)クラスアップ

(2)-1 彩 Tomas の単・複のクラスアップは自己申告のため本人がいつでもクラスアップできる

(2)-2 春季/秋季市民大会の B/C ブロック優勝者は、協会側でクラスアップする

(3)クラスダウン

原則として認めない。ただし、次の両方を満足する場合は申し出により審議する

1 加齢(70 歳以上)又は病気等による体力、競技力の低下が認められること

2 直近 2 年間の春季・秋季市民大会一般種目に不参加又は未勝利

(4)ダブルエントリー

(4)-1 大会、各種大会の開催期間が重複している場合、重複申込をしないこと

重複して参加したことが判明した場合はペナルティーの審議対象とする

(4)-2 異なる大会が一定期間内に開催される場合は、複数の申込みが出来る

ただし、重複が分かった時点で一方の参加棄権を連絡すること

(5)ドローの規模

各種目は3ドロー以上で成立

3ドローはリーグ戦、4ドロー以上はトーナメントとする

不成立の場合は大会運営委員会の審議結果を連絡する

(6)表彰対象

(6)-1 大会上位入賞者に対し、規定に基づき表彰する

(6)-2 年間大会を通じ活躍された参加者に対して、規定に基づき功労賞として表彰する

4 ペナルティーについて

(1)市民大会は公平かつ権威ある大会を目標とする観点から、申込クラスの違反・年齢の違反・ダブルエントリー等の不正行為に対して厳格な対応を行う

(2)下記項目に触れた場合は、当協会が開催する大会に原則1年間の参加停止とする

(2)-1 県大会出場有資格者の春季・秋季市民大会(一般A/B/C)への参加

(2)-2 県内在住、在勤、在学のいずれでもない方の一般A参加

(2)-3 「S」登録者の他郡市区大会予選会参加及び予選会に繋がる大会参加

(2)-4 申込者と異なった替え玉、名義貸し、代理参加(名義人、代理、パートナーも含む)

(2)-5 団体戦のチーム員で参加し、その一員が大会期間中、上記各項目に触れた場合の処遇対象はチーム

5 県大会予選会参加に関する注意事項

県大会出場権が取得できる大会は、各郡市区協会の県大会予選会と県協会公認の大会等があるが、市民大会で県大会出場を目指す方は「市民大会参加規程」を確認して申込みすること

(1) 当協会の県大会予選会と推薦条件

県大会予選会は春季・秋季市民大会の一般部門Aと選手権の一般部門がある

県大会への推薦は、区分「S」で埼玉県在住/在勤・在学/ふるさと制度適用者のいずれかであることが条件となる

(2) 区分「S」「T」と各郡市区主催の県大会予選会の関係

区分「S」: 当市から県大会出場権の推薦取得を目指す方

他郡市区が主催する県大会予選会又はそれに繋がる大会に参加できない

県大会推薦を放棄等の条件をつけても参加できない

区分「T」: 当市以外から県大会出場権の推薦取得を目指す方

当市の春季・秋季市民大会(一般A/B/C)には参加できない

(3) 当市在住、在勤、在学、在クラブで、複数の郡市区協会への登録者は、区分S/Tに従って、郡市区の県大会予選会を一つに絞って参加すること

6 埼玉県テニス協会通知[参考]

県テニス協会への会員登録及び参加資格について

埼玉県テニス協会

1. 会員は主としてプレーする郡市テニス協会に登録することが望ましい。「在住」「在勤・在学」「在クラブ」「ふるさと（2024年から新設）」の区分に応じて登録することができるので、複数の郡市テニス協会への登録が可能である。郡市テニス協会に登録した会員は、県テニス協会の会員として登録されることが望ましい。
2. 各郡市テニス協会経由で県テニス協会へ登録した会員の資格は、その年の4月1日から翌年3月31日まで有効とする。登録は記名（氏名のみ）を必須とする。
但し、転入（転居・結婚等）、転勤並びに「ふるさと制度」適用による登録は、随時受け付けるものとする。
3. 県主催大会・行事へ参加する場合は、県テニス協会の会員登録が必要である。また、指導員や審判資格等を取得する場合も、同様とする。
但し、県民総合スポーツ大会を兼ねている下記大会の参加資格は「県内在住・県内在勤及びふるさと制度適用者」とする。
 - ・埼玉県春季・秋季テニス選手権大会
 - ・埼玉県ベテラン春季・秋季テニス選手権大会
 - ・埼玉県実業団春季・秋季テニス選手権大会
 - ・埼玉県都市対抗テニス大会県予選会
4. 会員が県主催の大会や行事等に参加するために郡市テニス協会の推薦を受けるには、当該テニス協会の会員でなければならない。例えば、都市対抗テニス大会（地区予選・本戦）の代表選手、あるいは、郡市テニス協会から推薦を受ける県大会出場選手など。
5. 県テニス協会が主催する大会へ参加する場合は、会員登録している郡市テニス協会のいずれからでも出場する事が出来る。
6. 郡市テニス協会の推薦が必要な県テニス協会主催大会に参加する場合、複数の郡市テニス協会から重複して推薦を受けることは出来ない（推薦は、主たる活動の場として登録している郡市テニス協会から受けることが望ましい）。
但し、単・複については、別々の郡市テニス協会から推薦を受けることができるが、最終的な判断は、当該郡市テニス協会の規定に従うものとする。
7. 「個人の資格」で、県テニス協会主催のダブルス大会に出場する場合は、それぞれの選手が登録している郡市テニス協会が異なっても出場することができる。

2009年12月3日制定

2013年1月16日一部改正

2024年4月1日一部改訂

2025年1月11日一部改訂

2025年6月30日一部改訂

2026年1月28日一部改訂